

報道関係各位

2021年3月3日
株式会社クロス・マーケティング

東日本大震災から10年 9割の人が防災対策の必要性感じ、2人に1人は対策済み 備蓄品は“いざという時にすぐ使えるか”が鍵に

－ 防災意識・対策に関する調査（2021年）－

株式会社クロス・マーケティング（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：五十嵐 幹）は、全国20歳～69歳の男女を対象に「防災意識・対策に関する調査（2021年）」を実施しました。2021年の3月11日で、東日本大震災から10年を迎えます。今回は、現在の防災意識と対策状況、実際に行っている対策、防災対策の成功・失敗事例について分析しています。

◆自主調査リリースの続きはこちらへ ⇒ <https://www.cross-m.co.jp/report/life/20210303bousai/>

■調査結果

- ✓ **東日本大震災から10年、現在の防災意識と対策状況について聴取したところ、防災対策が必要だと感じている人は9割、実際に対策を行っている人は約半数。**

現在の防災意識と対策状況については、「対策の必要性感じており、対策も行っているが不十分に感じる」、「対策の必要性感じているが特に行っていることはない」という人がそれぞれ約4割で大半を占める。

一方、対策に必要性感じていない人は1割未満にとどまった。〈図1〉

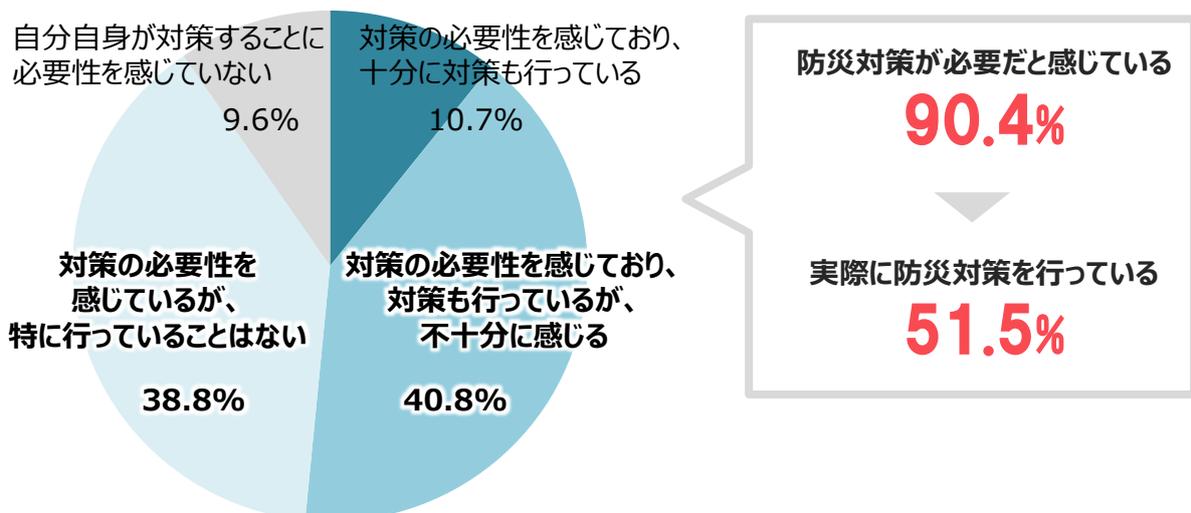
- ✓ **行っている防災対策は、備蓄品の用意が上位に。**

防災対策を行っている人の約6割が、食料品や水などの飲料を備蓄。性年代別に見ると、特に女性60代は全体的に他世代に比べて防災対策を行っている割合が高い傾向。〈図2〉

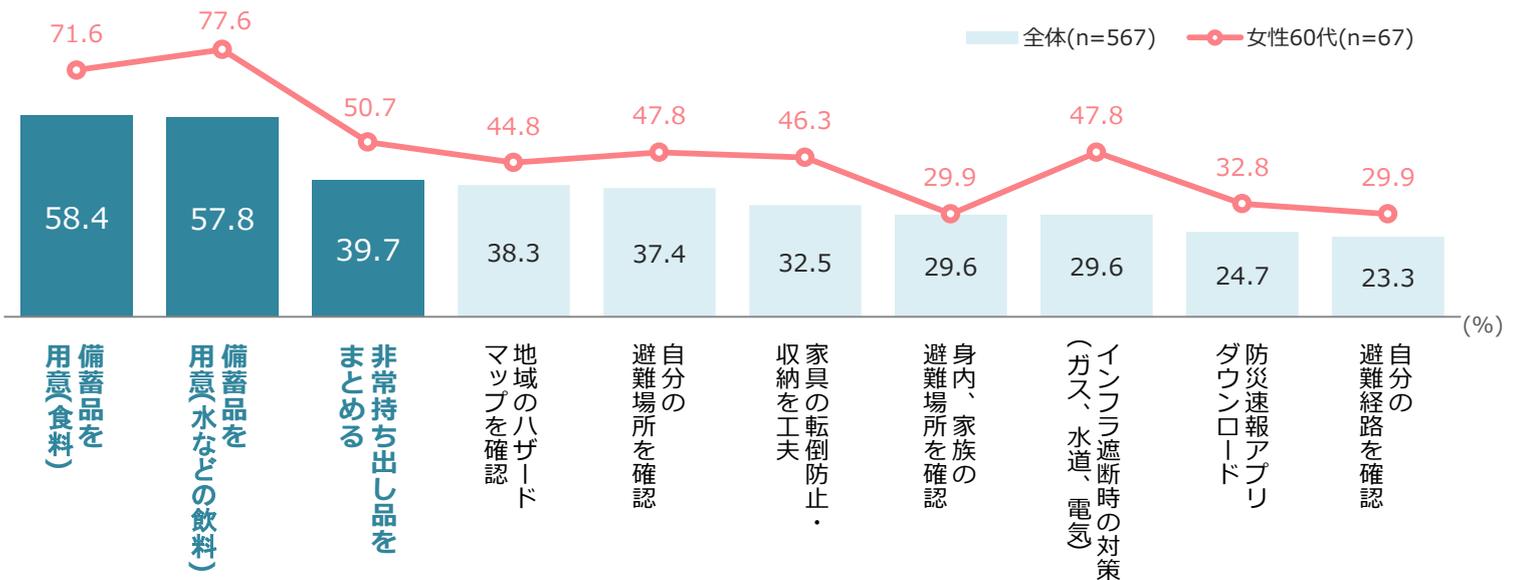
- ✓ **防災対策の成功事例では、食料品や生活用水を備蓄してよかったという声が多数。失敗事例では期限切れや電池の液漏れなど、いざというときに使えなかったという声も。**

水は飲料以外にも、生活用水として必要になるため、お風呂やペットボトルで日常的に確保し、災害時に役立ったという声があがった。成功事例・失敗事例を見ると、防災用品を用意するだけでなく、日頃からこまめにストックのチェックをすること、実際に試してみることなどが、必要だと思われる。〈図3〉

〈図1〉現在の防災意識と対策状況（単一回答：n=1,100）



<図2> 行っている防災対策 TOP10 (複数回答 : n=567) ※防災対策を行っている人ベース



<図3> 防災対策の成功・失敗事例 (自由回答 : n=567) ※防災対策を行っている人ベース 一部抜粋

成功事例

- ✓ お風呂に残り湯をためておいたので、トイレの水に利用できた。
- ✓ めったに使わない懐中電灯が邪魔だと思っていたが、先日の停電時に非常に役に立った。
- ✓ 友達と「非常食バイキング」と称して、ローリングストックを実践するために、1年に1度、賞味期限が切れそうな非常食を持ち寄り、みんなで試食していた。いろんな非常食があり、とても参考になった。

失敗事例

- ✓ 電池を入れて保管していたら劣化し、液漏れしていて使えなくなってしまった。
- ✓ 地下の車庫に懐中電灯等の防災用具をまとめていたが、車庫が電動シャッターで開かなかった。
- ✓ 非常食をまとめて購入したので、同時期に期限を迎える食糧が大量に発生して困った。ローリングストック方式にすべきと後で知った。

■調査項目

- 属性設問
- 現在の防災意識と対策状況
- 昨今の状況下で、現在、あなたが「してもいい」と思う外出を伴う行動
- 行っている防災対策
- 防災対策の成功・失敗事例

◆クロス集計表のダウンロードはこちらへ ⇒ <https://www.cross-m.co.jp/report/life/20210303bousai/>

■調査概要

調査手法 : インターネットリサーチ (クロス・マーケティング セルフ型アンケートツール「QiQUMO」使用)
 調査地域 : 全国47都道府県
 調査対象 : 20~69歳の男女
 調査期間 : 2021年2月26日 (金)
 有効回答数 : 本調査1,100サンプル

※調査結果は、端数処理のため構成比が100%にならない場合があります

【会社概要】

会社名 : 株式会社クロス・マーケティング <http://www.cross-m.co.jp/>
 所在地 : 東京都新宿区西新宿3-20-2 東京オペラシティタワー24F
 設立 : 2003年4月1日
 代表者 : 代表取締役社長兼CEO 五十嵐 幹
 事業内容 : マーケティングリサーチ事業

◆本件に関する報道関係からのお問い合わせ先◆

広報担当 : マーケティング部 TEL : 03-6859-1192 FAX : 03-6859-2275
 E-mail : pr-cm@cross-m.co.jp

«引用・転載時のクレジット表記のお願い»

本リリースの引用・転載時には、必ず当社クレジットを明記いただけますようお願い申し上げます。

<例> 「マーケティング・リサーチ会社のクロス・マーケティングが実施した調査によると・・・」